

校正記号

校正とは、誤字や脱字などの誤りをチェックし、文章の体裁や書体を整える作業のことをいいます。大学では担当教員やゼミの先生から、提出した原稿に朱書きで誤りを指摘されたり、訂正を加えられたりすることがあります。その際、よく用いられるのが校正記号です。校正記号の意味を知ること、正しく効率的に文章を修正することができるので、皆さんも校正記号に馴染むようにしましょう。

校正記号の例

提出日: 2020年7月10日

2020年度春学期科目「言語学概説1」(月曜日限)レポート

インターネット上の書き言葉

××学部△学科 1年1組 20x0123 法政太郎

文字を挿入(この例では中黒・・)

文字の修正(2文字以上の場合)

文字の修正(1文字の場合)

上付き文字にする

インターネット上には、無数の言葉がまさに蜘蛛の巣のように張り巡らされている。グローバルなコミュニケーション空間は、英語(米語)が「公用語」となっているように見えるが、以下のような指摘もある。

文字の修正(2文字以上の場合)

全体を2文字下げ

一方、インターネットの世界的な普及は、必ずしも文化の画一化やアメリカ化の促進だけを意味するものではないという見方もある。反対に少数民族の文化やマイノリティ集団に対し、それぞれの自己表現の機会を提供するものであるとするのである。(上村ほか2005:3)

文字の修正(1文字の場合)

文字の削除(2文字以上)

また、「ブログ検索サービスを提供する米テクノラティが4月5日に発表した調査結果によると、2006年第4四半期は投稿数で日本語ブログが世界最多だった」(武部2007:第1段落)という記事もあり、実態としては、母国語によるインターネット利用が中心で、いわば言語別のコミュニティが形作られているのではないかと考えられる。さて、インターネットでは動画も音声も配信できるが、現在のところ、文字による発信情報やコミュニケーションが基本的であるといつてよいだろう。

改行する

文字の削除(1文字)

「しかし、そこでは単純に「書き言葉」とはいえない多種多様な言葉遣い、一般的な書き言葉というよりも話し言葉に近い、独特な「書き言葉」が使われる傾向がある。たとえば、田中(2008)によれば、…

改行をやる

「便

指示(文字の修正)の取り消し

字間を詰める

小文字に修正

大文字に修正

2行目以降を2文字下げ

大文字に修正

イタリックに修正

ダッシュに修正

2行目以降を2文字下げ

ダッシュ

(総字数 2015字)

※仕上がった校正後の最終提出版はpp.50-51のレポートになります。